

第 1 回	<p>テーマ：オリエンテーション、乳児保育の基本</p> <p>本講義の進行方法・内容・評価</p> <p>乳児を育てるということ（グループワーク）</p>
第 2 回	<p>テーマ：乳児保育の基本（１）</p> <p>事例をもとに考える子どもと保育士等との関係の重要性（個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的な関わり）</p>
第 3 回	<p>テーマ：乳児保育の基本（２）</p> <p>事例をもとに考える子どもの主体性の尊重と自己の育ち（子どもの体験と学びの芽生え）</p>
第 4 回	<p>テーマ：乳児保育の実際</p> <p>子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮</p> <p>乳児保育と保育の方法</p>
第 5 回	<p>テーマ：乳児保育の実際</p> <p>集団での生活における及び環境の変化や移行に対する配慮</p>
第 6 回	<p>テーマ：乳児保育における計画の実際①</p> <p>長期的・短期的な指導計画</p>
第 7 回	<p>テーマ：乳児保育における計画の実際②</p> <p>個別・集団のデイリープログラムや指導計画</p>
第 8 回	<p>テーマ：０・１・２歳児の生活の流れと保育環境</p> <p>乳児の養護（観察・環境整備）</p>
第 9 回	<p>テーマ：発育・発達を踏まえた援助①</p> <p>乳幼児期の養護と健康の評価（保健活動）</p>
第 10 回	<p>テーマ：発育・発達を踏まえた援助②</p> <p>乳児期の清潔・身辺自立、沐浴・排泄</p>
第 11 回	<p>テーマ：発育・発達を踏まえた援助③</p> <p>乳幼児の食の援助（調乳・授乳）、与薬</p>
第 12 回	<p>テーマ：乳児保育の遊びを考える①</p> <p>子どもの発達に応じた遊び教材の成果物の発表</p>
第 13 回	<p>テーマ：乳児保育の遊びを考える②</p> <p>子どもの発達に応じた遊び教材の成果物を用いた指導計画及び実践</p>
第 14 回	<p>テーマ：保護者・地域・保育者・専門機関との連携</p> <p>それぞれの「連携」を行うことで子どもが安心して快適に過ごせることを理解する</p>
第 15 回	<p>テーマ：これからの乳児保育</p> <p>乳児保育における社会的課題と保育者の専門性</p> <p>まとめ・発表・レポート</p>
テキスト	乳児保育Ⅰで使用した教科書を持参すること
参考図書・ 教材／データ ベース・ 雑誌等の紹介	<p>保育所保育指針</p> <p>授業内容に応じて資料を配布する。</p>
課題に対するフィードバックの方法	実技については、授業に取り組む姿勢と技術習得の側面から授業の中でその都度フィードバックを行います。

	提出物については授業の中で課題に関するディスカッションや解説を行うことによりフィードバックを行います。
学生へのメッセージ・コメント	<p>○乳児をとりまく様々な課題に普段から興味関心を持って、情報収集すること。</p> <p>○乳児保育Ⅰの授業を振り返り、乳児保育の理論や乳児の発達について思い起こしておく。</p> <p>○授業で扱ったテキストの範囲及び配付した資料は、授業後に再度熟読しておくこと。</p> <p>教科書や専門書以外にも、身近な私たちの生活の中に、この授業内容を理解するヒントがあふれています。</p> <p>授業内容に対し、疑問や意見を持つことで生活の中でアンテナを広げ、そこで得た情報を、授業の中で表現することで学習内容はさらに深まります。</p> <p>尚、本授業の教科書は乳児保育Ⅰで使用した教科書を使用します。必ず授業に持参するようにしてください。</p>

